

南魚沼版 CCRC（生涯活躍のまち）構想まちづくりアイデア募集

審査総評

このたびは本アイデア募集に、多数の皆さまより応募いただき、誠にありがとうございました。10月31日に審査委員会を開催し、厳正な審査により入賞作品を決定しました。

今回の募集には、A部門（夢づくり）144点、B部門（事業づくり）14点、C部門（まちづくり）12点もの、創意工夫に富んだ提案や熱意あふれる提案が寄せられました。南魚沼市や新潟県に留まらず、東京や福島、京都、滋賀などからも応募が寄せられ、南魚沼での取り組みや、地方創生という日本全体の課題に対する関心の高さを感じました。

A部門には、小学校高学年から多くの応募がありました。地域の課題に対する具体的な解決策をグループワークで提案した案や、未来の南魚沼を豊かな表現力で描いた案など、子どもたちの地域への関心と想いが伝わる作品が集まりました。地域の特色を上手に捉え伝えている案が高く評価されました。

B部門には、建設会社、教育・スポーツ企業、イベント系など幅広い業種から応募がありました。さまざまな事業領域について多様な提案が寄せられました。最優秀、優秀案の選定にあたっては、応募の性格上、相対評価ではなく南魚沼市としての要求水準に照らした絶対評価として採点しました。その結果、最優秀は該当なしとし、上位2点が優秀となりました。

優秀2点は、事業の実施を前提に事業骨格を提案しています。実現可能性とリスク負担のバランスに苦慮しつつ高度な検討をした優れた提案ですが、市としてのCCRCの考え方のすり合わせが必要であり、最優秀には至りませんでした。

審査員特別賞は3点を選定しています。これは、事業の骨格の提案ではありませんが、CCRC実現に向け必要なステップとして重要な提案として選びました。優れた提案であり今後の活用が期待できるアイデアです。

C部門は、設計事務所や、建築系の学生から応募がありました。全体として、地域のコミュニティとのつながりを考慮した案がないことは残念でした。当地の特色である雪への配慮や、生活空間の快適性に関しては、よく考えられたアイデアが多数寄せられました。

コミュニティ内の快適性を追求するあまり、地域コミュニティとのつながりやCCRCとして健康寿命の延伸に対し逆効果なものは、高密度で検討されていても評価が低くなり、残念ながら審査委員会は最優秀及び優秀は該当なしとしました。

ただし、地域性や将来性に向けて具体性のある提案2点を審査員特別賞として選定しました。これは、条件付きの優秀賞という趣旨です。もちろん、佳作となった提案、惜しくも入賞とはならなかった提案にも、見るべきアイデアは多数盛り込まれていました。

入賞した作品は、そのまま実現させるには様々な課題が含まれていますが、CCRCの事業化のための素晴らしいアイデアが盛り込まれており、今後、南魚沼市では、これらを参考にしながら、CCRC構想の実現を進めていきます。

最後に、短い応募期間の中、興味ある作品を提出していただいた応募者の皆様の南魚沼市を愛する心とまちづくりに参加する熱意に敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。審査の総評といたします。

平成28年11月2日

審査委員会委員長

南魚沼市総務部 部参事 地方創生特命部長 清水 明

提案部門B 入賞作品 講評

優秀賞

タイトル：豊かな南魚沼暮らしを Soft と Hard で実現

応募者：大成建設株式会社

日立キャピタル株式会社
大成建設ハウジング株式会社
富士ゼロックス株式会社
株式会社 本間組
マンパワーグループ株式会社

企業連合を組成し Soft、Hard のそれぞれで、具体性の高い提案を行っている。

ただし、CCRC ならではの付加価値的な提案が今後の検討として積み残されている点が、物足りないとされた。

短い検討期間でありやむを得ないことではあるが、今後の検討に期待するという意味で優秀賞にとどまった。

タイトル：移住者主導の事業づくり

応募者：大和ハウス工業株式会社

提案者が包括的に事業に取り組む姿勢が高く評価された。

その一方で、事業リスクを減ずるために一部分譲とする部分が、CCRC の事業理念との適合性において疑問視された。南魚沼市として、どのようにリスクを負担していくかは今後の検討になるが、積み残しがあるということで優秀賞にとどまった。

審査員特別賞

タイトル：こらっしゃい南魚沼

応募者：清水建設株式会社

事業主体としての取り組み体制が構築できていない点が残念であるが、CCRC 実現に向け欠かすことができないステップを顕在化したことが高く評価された。提案者に対し、事業実施に向けて主体的に取り組んでもらえないかとの意見も出された。

また、同じ提案者から出された C 部門の提案も、B 部門の具体的提案ととらえ、一体で評価することとした。

タイトル：ニッポンの未来を発信する南魚沼 CCRC タウン

応募者：第一建設工業株式会社

二つの提案が出されているうち、浦佐駅の開発に関する提案が評価された。浦佐周辺の開発において、駅の利活用は不可欠と考えられる。ただし、利活用の具体案については、実現性や効果について疑問点があり、審査員特別賞とした。

タイトル：地域の健康増進及び健康産業における雇用の創出

応募者：セントラルスポーツ株式会社

簡素な提案であるが、地域に不可欠な事業であり、実現可能性も高いことから特別賞とした。

提案部門C 入賞作品 講評

審査員特別賞

タイトル：南魚沼 匠宿

応募者：高田康史

アクティビティと連携したハードの提案として評価された。

ただし、移住者が地域に教えるという一方通行のイメージが強い点で難点が示された。

ここで提示されている基本的な枠組みは優れているので、地域から移住者が学ぶという、提案とは逆方向の流れも組み込めば優れたものになるというポテンシャルも考慮して、条件付きでの優秀なアイデアという趣旨で審査員特別賞とした。